

絕句解辨書

七言絕句

中





滄溟七絶三百首解上辨書中

東都 南峯 中川景福 著

常陽 鹿門 白 隆熙 校

寄襲最

予鱗向鄉人ギマカ門人デアロンレニ名ヲ称シテ字ハ克憊トシ
此時長白山ニテ隠者ニナリタルナツカニク思フテ詩ヲヨセタ

白雲湖

白雲湖ト云水
ハ嶺南ニアル

上白雲飛

其アタリヲ白雲カ飛ズ
レヲ見テ襲最ヲ思出

長白山中去不歸
君今在 幾峰

長白山モ濟南ニアル襲最ハアノ雲ノアルアタリノ長白山一引込テ帰ラス
今ハトウジママヲタヨリモ無ヒ○白ノ字ヲ三ツ用ヒタ是カ疊字ノ法分也

上四下三ノ句法ヲ上ノ四字ト下ノ三字ト心カニツニワカル君ハ襲ヲサス其元ハ
今ハ長白山ノイ多ノ峯ニ居ラルハ○是カ二ツノ問也此四字ニテ心カワカル

秋 色 遍 否 定メテ秋
ト来テ物ニカテアラス但シ
サモトヒカ○是ニツ向キヤ
何人共結薜蘿衣
是カ三ツノ問也○薜蘿ノ衣ハ隱者ノ衣服ヲ
云薜蘿ハツタトヨムマハリツタノ衣ト同シ心カマ楚

送 殿 卿
姓ハ許名ハ邦オト云是モ又于鱗カ同郷ノ人デ中ノ善ヒ友也此詩ハ于鱗北
三京ニ居テ作シ殿卿也此時侵伐ニツヒテ廣西一行ヲ送ル也

莫辭杯酒

上四字下三字ノ句分其元廣西一行ルニ酒ヲ勸ル
オドニ随分辭退ヒズニ飲ニレヒト先出字ヲニ切ラ

薊門春

薊門ハ三京ノ都
門ヲサスヲ都門

春色詠メテ酒ヲムモ合カリシ 一盃飲ヤレト 三字テ云フ

匹馬明朝客路新 客路ハ旅行ノ路ヲ云 新ニトハマフラモ

相逢之誰是眼中人 眼中ノ人トハフルキ友達ノヲ云

上少年君自應見 少年君自應見

送劉戸部督軍餉行湖廣 湖廣ハ古ノ楚地ヲ云

洲邊處士題鸚鵡 鸚鵡洲ハ後漢ノ祜衡カ黃祖ニ殺サレタ地

陂上公孫擁驕驍 驕驍 楚國ノ參觀ニシテ時令尹子常ト云

到日夏雲應生七澤 楚國ニ雲漢ニシテ

愁時秋色滿三湘 三湘モ楚國ノ地名

馬 馬上春風白接離 晉ノ山簡襄陽ノ習家ニ行テ大醉

花開時應醉習家池 花ノ咲タル所ハ山簡襄陽ノ習家池

鹿門 鹿門山ハ襄陽ニシテ

漢江 漢江ハ漢ノ水也

江樹蒼蒼繞沛宮 明ノ嘉靖ノ天子ハ此處ヨリ出テ即位

猶望幸 漢高祖ノ天子ニシテ後故里ノ友人ナドヲ思召出サレテ沛宮ニ行幸

君王按劍顧雲中 雲中大同府ト云

洞庭 洞庭ト云フ

仙使 仙使

相仍 相仍

君 君

君 君

君 君

君 君

君 君

君 君

君 君

君 君

君 君

舟 扁舟小舟子... 似李膺

似李膺

大勢送テ出タ。郭泰ト云名高キ人ト云。扁舟

不知何處是巴陵

巴陵洞庭湖... 元舟ノリテ洞庭湖ノ湖ト廣キ所ハ乗出サレタラハ雨ノ時ナドハ岸ノ

江雨茫茫江州通

楚雲重

錦帆白帆... 楚國ノ方ハハカニ乗テ行レウガ楚國ハ廣ク処テ

錦帆南入

江上

送看衡嶽峯... 衡嶽モ楚國ノスツクノ方ニ衡嶽ト云大山カアル山

落日蒼茫秋

不斷青天七十二芙蓉

芙蓉トハ芙蓉峯ヲ云

送吳郎中讞獄江西

吳郎中ハ官事ヤ讞決断サレタリ江西者吳楚ノアヒチマ

春風躍馬出長安

長安ハ京師ト云送別江南路漸

漫

江西江南ノ地也此春風ノ長閑ナル時分ニ馬ヲラモイセシク北京ヲテ

劍氣

晋ノ雷煥カ豊城縣人トナリ龍劍ノスグレタ劍カ上ニ埋テアツテ誰知ル者モ無リシラ雲

到時還向獄中看

此句ハ皆人カ共ニ云フハ豊城ノ獄屋ノ内ニ竜劍カ埋

北望楚天分

其元ノ行カハ江西ノ庐山ヲ北ノ方ニ遙見渡ルハ吳ノ國ト楚

帆入彩雲

庐山ハ元仙ノ処ト云其元此地ヲ去リ舟ニ乗ル北高ト

處市番君

漢ノ代ニ番君ト云ゴセイト人カ番縣ノ人ニナリテ治メカカヲカツタ其旧跡モ有フニヨツ

淦水陰

淦水ハ江西ノ淦水ト云中藏玉筍

自徒歸去神仙

梅福ト云漢ニ仕南昌ト云ノ尉ト云官テアツタ時ニ

盧山

盧山ハ江西ノ盧山ト云君去揚

不知何

處ト云

淦水陰

淦水ハ江西ノ淦水ト云中藏玉筍

自徒歸去神仙

梅福ト云漢ニ仕南昌ト云ノ尉ト云官テアツタ時ニ

盧山

盧山ハ江西ノ盧山ト云君去揚

不知何

處ト云

淦水陰

淦水ハ江西ノ淦水ト云中藏玉筍

自徒歸去神仙

梅福ト云漢ニ仕南昌ト云ノ尉ト云官テアツタ時ニ

盧山

盧山ハ江西ノ盧山ト云君去揚

不知何

處ト云

淦水陰

淦水ハ江西ノ淦水ト云中藏玉筍

自徒歸去神仙

梅福ト云漢ニ仕南昌ト云ノ尉ト云官テアツタ時ニ

盧山

盧山ハ江西ノ盧山ト云君去揚

不知何

處ト云

淦水陰

淦水ハ江西ノ淦水ト云中藏玉筍

自徒歸去神仙

梅福ト云漢ニ仕南昌ト云ノ尉ト云官テアツタ時ニ

雲孤 アツクハ 霞リタル空ハ 白雲ガリ見ヘラバ 到日扁舟 落 扁舟ノ行付タル心ニ

五湖 五湖ハ 吳中ニテ 其元吳中ヘ行付レタ日ハ 遙ニ道君 不見薊門秋草色愁

心明月 色ト正ニ同レクハ 嶺 城ノアタリニ 滿ルテアコフ 滿姑蘇 姑蘇ハ 吳中ニ居ラレテ 色クノ愁心ハ 正ニ同ク 明月

雪後憶元美 元美 吳中ニ居リテ居

雪後 千門月色開 雪ハ 北平ノ都門ニ 千門ニ 真白ニ 其上月モ 亦ヘテ 面白キニキキ 故人 故人ト云フ

憶子猷 子猷モ 王姓ヲ云フ 共事ヲ用ヒテ 王子猷ト云人 雪ハ 月升ハ 見テタイ

饒佗已盡山陰興 元美ハ 奉公ニ 居タリ 吳中ニ 興ガ 盡タリ 吳中ニ 興ガ 盡タリ

酒來 子猷ガ 山陰ノ 興ガ 盡キマウト 半夜ノ 時分ト云フ 酒ヲ 載テ 來ラレト云フ

送子相 子相 姓ヲ 宗ト云ヒ 名ヲ 歸廣陵 楊州府ニテ 子相ト云

茂陵消渴臥詞臣 司馬相 消渴ヲ 病テ 茂陵ト云 臥シテ 詞臣ト云 文章者ノ

主豈無金掌露 武帝 仙術ヲ 好シ 三石ノ 銅柱ヲ 立テ 仙人ノ 露ヲ 取リ 金掌ト云

卿元是倦游人 倦遊ハ 史記ニ 司馬相 如 傳ニ 語テ 倦遊ト云 帝驚ク 無テ ハナヒナ

相逢杯酒薊門關 薊門 關ハ 都城ノ 門ニ 相逢ト云 杯酒ト云 酒ヲ 飲ム 其地ニ

月下并刀 并刀 刀ハ 并列ヨリ 明月 環ニ 飾テ アル 此ノ 句ニ 轉ジタモノ 我腰下ニ 佩

開匣贈君 匣 匣ニ 上四字 下三字 當落日 能令秋色滿燕山

少年裘馬結交場 少年ノ 輩ハ 輕年裘ヲ 着テ 肥犬 馬ヲ 乘リ 交リ 結ビ 驕リ 少年

ツ手柄ニスル壯年ノ我ハハッレトカフテ何トノ功ヲ立タカシ揚カカ
後世ニテモ竹岸ノ書籍ニ書殘サレテ名ノ輝クマラニスル
海内ニ黄金サハ沢山アレハ親ニ多ク意氣ハリウツテ金ヲ百年モテ
頼ミシク見レバ其人ノ味ヒカク食テテハトテ返リテモミヌ是カ黄金ニ
昔野中ニ陽春皇ノ曲ヲ歌フ者サツタニ至極高ヨク曲ニ
和スル者ガ繁ト云フザルソヨリノ詩ノモテホラ白雪云
ヨソノ名ガ後世ニ成リテ我等ガ文
章ヲ見ルテアラフ○四句ニ全對也

○薊北青山照別色請君聽我秋風辭
青山ノ色ガ今別レノ感ヲ照ルヨヒケレシジヤモマ別レノ感ヲ
若殘惜ヒ何トバ我秋風對愁抱秋風辭作ツタ團ヲレヨ
楊州 手相カ故柳
十月梅花發江上
見文章 第二句ニ忘レ我輩ハ人間ノ世ノ中ノ詩
人ト格別ニテ白雪ノ高ト曲ヲ歌フ
名ヲ云

春光好 上五字下二
贈誰 楊州ハ暖地ト梅ノ名所ナリ其元故柳揚州ハ返ヘラヒタラバ暖國故ナリ
字白也 比梅花が用ニヨツテ江水ナリ春ヲシキモ好古ト云切テトト梅カヨ
在枝ヲ折テ誰ニトテ贈ラフモハアルニヒ先令故人ノ我ト出金
夕氏ニ盃飲カヨヒト 別ノ後返想像テ酒ヲ飲語ナリ
○白雲無盡楚天寒 楊州ハ古
楚天ト云 鴻雁蕭蕭楓樹平 空ニソナリ風景モ秋寒ハ時分ナハ鴻雁モ蕭々ト物サミク楚國ノ
楓樹ノ多キ処ナレハ紅葉赤ト
楊州 月明愁裏度 子相カコラ云フ其元月夜ニ楊州江ヲ渡
秋深ニシキテテロフ 生ハ客中ノ愁ヲ起シ悲ク渡ラントデア

○廣
陵秋色雨中開 繫馬 青楓 江上臺
其元廣陵ニ行ル時ハ秋ノ景氣モ物
サレシク雨中トハイ氏景氣モラ用テ

○廣
城 雨色夢中看 夢中ニ蕪城ナドノ氣色ヲ見テデア○後對ナリ
地多マ
楊州 月明愁裏度 子相カコラ云フ其元月夜ニ楊州江ヲ渡
秋深ニシキテテロフ 生ハ客中ノ愁ヲ起シ悲ク渡ラントデア

○廣
城 一片雪山來 此一首ハ專ラ子相カ厚後ノ情ヲ云フ後ノニ夕ハ臺上ヨリ眺望ノ
景ヲベテ我ト遠ク相隔クル意ヲヨセテ云フマフハ臺上ヨリ
見渡サレタル処ガ落日ノ比海ニ上ルカニ天ト連リ子ノ帆カ低ク動カヌヨニ見ユルヲ又ラト云フハ低ト動カ
又ハ海ノ實ノ景ヲ見ルマツチ岸ノ方ハ濤カ荒レ驚クマツチ濤カ一ドウドカハ雪ノ山ガ近ク来ルモヤ
氣ノ晴々
○廣陵城上秋瀟瀟 濤聲欲來風色驕 廣陵城ナドハ秋ノ氣色モサヒ
ケレシヤ
強ク吹テ来ルト跡カラ 濤道蹴天三百里不知何似 猶ソシト云
ドウド濤ノ声ガヒク 濤道蹴天三百里不知何似 猶ソシト云
里ノ廣キ同ニ天ヲ蹴ルマツチ大浪ガウツト因タガ浙江ノ荒ラ
波トトウデアアラ浙江ノ潮モ亦名ノ有故廣陵トクマテ聞カ

○廣
城 酒如河半醉當筵楚調歌 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

○再別子與 徐卿我ヲ餞別ニテクル
故ニ竟愛テテ送ルト云
馳走ノ用意セラシタ酒ハ河ノ如クヤ詩友ナレバ果ト醉時
分ニ岸上ニ楚國ノ高調ハ陽春白雪曲ヲ歌テ別テス
子也今其元ト手ヲ握リ共ニ燕山ノ春草
ケニキツ見モ今ヨカヤリヤ
○西省白雲 子也刑部ヲアル刑部官刑器
所ヲ西省ト云刑部
多 別後ノ想像ヲ云フラニケケ順徳存ヨリ書柬ヲ寄セヨ其時ハ
其元復所ヲ順徳ヨリ見渡タハ只雲ガリ多シ見ユルテロフ
○馬

上飛揚縮縮ハ結アリ 別秋樽前日爲相留 馬上ニテ別ヲ惜ミシ

別秋樽前日爲相留 馬上ニテ別ヲ惜ミシ 柳枝ヲ折リ結テ

別秋樽前日爲相留 馬上ニテ別ヲ惜ミシ 柳枝ヲ折リ結テ 明朝何處風塵吏何處ノカ

明朝何處風塵吏何處ノカ 回首青雲 是舊遊其時首

是舊遊其時首 春水來其時首 看錦字其時首

看錦字其時首 白雲秋樹應 滿燕臺今春ノ時別ルハ大方イテ我書翰ヲ寄ルハ秋ニテラ其時我書翰ヲ見

滿燕臺今春ノ時別ルハ大方イテ我書翰ヲ寄ルハ秋ニテラ其時我書翰ヲ見 知君起草起草トハ詔ノ 建章宮漢ノ宮殿ヲ

建章宮漢ノ宮殿ヲ 見徵書問畫熊諸侯ノ車ノ載ニ燕ヲ画シテ公卿守ノヲヲ云テ其元ハ天子ノ詔ヲ禁中

見徵書問畫熊諸侯ノ車ノ載ニ燕ヲ画シテ公卿守ノヲヲ云テ其元ハ天子ノ詔ヲ禁中 在昔漢臣多領郡黃金先賜漢ノ作法ニテヨク治メ

在昔漢臣多領郡黃金先賜漢ノ作法ニテヨク治メ 右扶風右扶風ノ官 順德順德ノ官

留別吳舍人吳姓舍人ハ官名ハ國倫字ハ明卿ト云七才子ノ内也此時中書舍人ト

令人書札甲各舍人ハ書札ヲ主トシテ居ラルハ各モ 五雲開唐ノ韋淑公ニ封シテ常ニ五色ノ紙ヲ以テ各ヲカキ安ニ是

五雲開唐ノ韋淑公ニ封シテ常ニ五色ノ紙ヲ以テ各ヲカキ安ニ是 池上鳳皇晉ノ荀勗父シシ中書官トシテ居テ後替シタルニ大事

池上鳳皇晉ノ荀勗父シシ中書官トシテ居テ後替シタルニ大事 應笑應笑ノ官 風塵減吏才我郡守トナツ

風塵減吏才我郡守トナツ 今不見何因得下郡城來漢ノ黃霸が潁川ノ守トナリヨク治メタスハ鳳皇が下ツタ

今不見何因得下郡城來漢ノ黃霸が潁川ノ守トナリヨク治メタスハ鳳皇が下ツタ 君自楚人君自楚人

君自楚人君自楚人 擬向風塵避少年 有誰傳其元ハトヨリ楚國ノ人ユ

有誰傳其元ハトヨリ楚國ノ人ユ 諸故事于今白雪楚國ノ昔ノ事ハ今白雪ノ如ク

諸故事于今白雪楚國ノ昔ノ事ハ今白雪ノ如ク 春色送都門 歸愁楚客長明

歸愁楚客長明 歸愁楚客長明 歸愁楚客長明

歸愁楚客長明 歸愁楚客長明 歸愁楚客長明

歸愁楚客長明 歸愁楚客長明 歸愁楚客長明

歸愁楚客長明 歸愁楚客長明 歸愁楚客長明

歸愁楚客長明 歸愁楚客長明 歸愁楚客長明

歸愁楚客長明 歸愁楚客長明 歸愁楚客長明

送元九... 悲見... 其元九家... 思ハルモ仕... 借問何人賦... 搖落白雲依舊

洞庭... 洞庭... 其元九問... 今何人... 楚王... 秋... 搖落... 落葉... 賦... 楚王... 搖落... 落葉... 賦... 楚王... 搖落... 落葉... 賦...

塞上曲... 塞上... 胡人... 戰... 行... 時... 元美... 塞上... 胡人... 戰... 行... 時... 元美... 塞上... 胡人... 戰... 行... 時... 元美...

四首送元美... 塞上... 胡人... 戰... 行... 時... 元美... 塞上... 胡人... 戰... 行... 時... 元美... 塞上... 胡人... 戰... 行... 時... 元美...

燕山寒影落... 言... 塞上... 燕然山... 寒... 高秋... 北折... 榆關... 大海... 言... 塞上... 燕然山... 寒... 高秋... 北折... 榆關... 大海...

馬上白雲隨漢使... 漢使... 元美... 其元九... 行... 燕然山... 曲... 榆關... 漢使... 元美... 其元九... 行... 燕然山... 曲... 榆關...

不知何處不堪秋... 知... 第一... 愁... 堪... 秋... 知... 第一... 愁... 堪... 秋... 知... 第一... 愁... 堪... 秋...

漢兵圍合左賢王... 左賢王... 漢... 時... 匈奴... 大將... 左賢王... 漢... 時... 匈奴... 大將... 左賢王... 漢... 時... 匈奴... 大將...

吹角... 角... 軍中... 吹... 千山夜有霜... 折... 寒... 氣... 山... 霜... 角... 軍中... 吹... 千山夜有霜... 折... 寒... 氣... 山... 霜...

君試... 狐奴城... 狐奴城... 永平... 上聽... 豈堪秋色滿漁陽... 上... 首... 何處... 狐奴城... 永平... 上聽... 豈堪秋色滿漁陽... 上... 首... 何處...

西出居庸... 居庸... 北... 大漠... 沙... 龍... 開... 胡... 塵... 遙... 暗... 居庸... 北... 大漠... 沙... 龍... 開... 胡... 塵... 遙... 暗...

愁看塞上蕭條色... 塞上... 蕭條... 落日... 秋風... 萬里... 來... 塞上... 蕭條... 落日... 秋風... 萬里... 來...

白登臺... 白登臺... 蕭條... 落日... 秋風... 萬里... 來... 白登臺... 蕭條... 落日... 秋風... 萬里... 來...

如霜出塞... 寒... 胡... 烽... 不斷... 接... 長... 安... 長安... 北京... 寒... 胡... 烽... 不斷... 接... 長... 安... 長安... 北京...

月多少... 征... 人... 馬... 上看... 城... 頭... 一片... 西... 山... 征... 人... 馬... 上看... 城... 頭... 一片... 西... 山...

留別子與子相明卿元美... 再... 時... 子... 與... 子... 相... 明... 卿... 元... 美... 再... 時... 子... 與... 子... 相... 明... 卿... 元... 美...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色... 色...

青雲如舊

言ハ旧時ノ官人皆
恙カク勤テ居ル

滿燕關

都門

病客

自ラ

風塵且

自還

病身我

病身我ハ夙塵ニ交リテ
役替モ入ニタリ順慮ハカ
ル

到日

郡齋

春酒

順慮

順慮

順慮

順慮

順慮ハ郡齋ノ時分ニ
春酒ヲ熱テス其ト順慮
府城

太行山

順慮ノ郡齋ノ時分ニ
春酒ヲ熱テス其ト順慮
府城

使君

使君ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

千騎

千騎ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

何限

何限ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

使君

使君ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

千騎

千騎ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

回首

回首ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

以望

以望ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

春雲

春雲ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

五鳳皇

五鳳皇ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

使君

使君ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

還容

還容ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

長孺

長孺ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

臥淮陽

臥淮陽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

此日

此日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

還容

還容ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

長孺

長孺ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

臥淮陽

臥淮陽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

此日

此日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

總為

總為ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

風塵

風塵ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

去住

去住ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

上醉

上醉ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

黃金臺

黃金臺ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

上醉

上醉ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

相看

相看ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

儵然

儵然ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

落日

落日ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

離歌

離歌ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

起忽

起忽ト稱スキ身上ナリ
ヨリテ

七言

君王日下求賢詔憶爾還開諫獵書

江上青山

滿諸居

於郡城

送明卿之江西

江上青山

滿諸居

於郡城

送明卿之江西

青楓颯颯雨凄凄。秋色遙看入楚門。迷

誰向孤舟憐逐客。白雲相送大江西。

長安 二月 經 垂楊

今日故人 投轄地 况逢山色

滿刑襄 那裏順恩ヲ云フ昔ハ其元カ我ヲ送テ留テ多今ハ引テ去ル此地テ我カ其元ヲ送

高齋秋色滿西山梅福 君到豫章 勞問訊漢家遷客幾人

還 其元江西ノ豫章ヘ到ルナラハ面劍ナカラ也者ニ向フテ見ラレト左ニシテ此地ニ乘ルテ多

郡齋 同元美賦得橋字

山色秋停使者 輕孤城何處不蕭條

水依舊東流 豫讓橋

懷元美 以下四首ハ張平子四愁ノ詩ヲ作りテ友ヲ思フタ詩ガ四首アル

瑯琊山上越王臺 越王其墓濠州ニ在ル元美ハ瑯琊ノ王也越王其墓ヲ月用ル也張平子ガ

秋色高臨海色開 莫向中原 看落日

浮雲 不見使人愁 萬里為君來

七言 色可卒學書

ヲ見ルコト勿レ浮雲方万里ノ間ニ起リテ若日ヲ蔽ヒカクニ日トハ人君ヲ指テイフ誤者人君ノ明ラクテスハ
浮雲ノ白ヲ掩フマツビヤ其元ヲ誤言スル者京中ニ滿テ居テ今ハ仕合テ長ニ居ラレト嘆息スルヤ

懷明卿

豫章 豫章八明卿カ
此詩居ル処也
西望彩雲間 九派長江 九江ハ九ニワカレ名
九疊山 豫章ニ九華
カアル山モ河モ

雲ノ間ニ見ル九ニ派タ江水モアリ九重ニ
タミテタマツ山モアリ十ツカク望ムニヤ
高臥不須窺石鏡 石鏡トテ鏡ノ如ク見
石カ石江ニ西ニ見
秋風

惟悴侍臣顏 其元今ハ枕ヲ高メ臥メ居ラルカ必ズ石鏡ニ向テ顔色ヲ見ルヲモル此秋風ノ吹
ク時分ニ愁アル人ノ顔色ハ憔悴トカクテ又々有昔年侍臣ノ時顔色ハ似テ

懷子相

越王城 時ニ子相関ナリ
越王城モ関ナリ
上黯 黯然トノ魂モ銷ルヤテロフ其時ハ故人ヲ思フ
銷魂 萬里秋風動薊門 薊門 其元ノ居ル
國中ノ越王城

方里ノ間秋風ノ吹来テ北京ノ都門ヲ動タホド十時我モ其元ヲ思フ
君自平生稱國士 其元ハ平生我ノ國中ノ士ト稱ラルトバタトハ南中國州ノ左ニ
南遷豈負信陵君 其元ハ平生我ノ國中ノ士ト稱ラルトバタトハ南中國州ノ左ニ

懷子與

青山忽送七閩秋 是時子與ハ邵武ト云
所ハ知有ノ官テ居ス
大海遙連百粵流 邵武ハ廣輿ノ地ト
又閩越ト相連テ

アル其元ノ居ル處ノ邵武ノ青山ノケニキモ七閩ハツヒテアル所ニ其秋ノ景色ヲ送リテ報
秋モ未ニナリサヒシカコフ大海ハ遙ニ百粵ニ連テ又境ナレハサソウカコフ
落日孤城

風雨合 褰帷 褰帷ハ郡守ノノゾク後漢ノ賈琮カ冀州ノ刺史トナツタ時刺史ハ元ヨリ
遠ク視廣ク瞻ツタ何ソ車帷ヲ掩メトテ帷ヲ褰タ因テ郡守ノノゾク褰帷ト云
何處

不堪愁 入日ノ頃ニ其元ノ居ル孤城アタリ風雨ノ起テ眞暗ニナツテ東タ兵郡邑ヲメグリ
出ラレタナラバサカナシカラフ中ニモ何処カ第一悲ニ景色テアルト同ダケヤ

寄伯承

伯承ガ姓ハ李名ハ先芳ト云伯承ハ字チヤ
コノ下ノ四首ハ一等下タ人ニ寄ト云フ
滿玉墀仙郎賦就幾

才子含香 侍中官人ハ羅含香ヲ啣テ天子ニ奏問スル口中
眞氣ヲサケルカ故ニ侍中ハ含香ノ字ヲ用ユ
玉墀ハスヘテ禁裏ノ庭ヲ丹ヲ以テ地ニ鋪ククニ固クスルニ玉墀ト云仙郎ハ伯承ガ詔官チヤニ

人知 ヨツテコトヲ指ス禁裏ニ才子共カ雜名香ヲ含テ大勢侵処ニ居ラルル其中ニ其元賦ニ作テ
モヨキ賦チヤト云フヲ知タル人ハ幾人アル人ノ
只今 西省空 相憶 楊

馬 風流自一時 今其元禁中ノ復処西省ニ居ラレテ我等ガヲ空ノ相思ハレワガ今友
連ハ四方ニワカレ居ルニ昔ノ如ク出會セシヲ思フ氏合ハナラ又此時七

寄茂秦

誰惜虞卿 虞卿ハ趙人チ茂秦ハ是趙王ニ奉公メ客分ニテ居タ
故ニ引用ヒテ虞卿ハ趙王ニ説テ客ニツテ居故シヤ
老去貪 謝茂秦此時飄
泊ハ他國ニ居タ

七言 色ノ字ナク書カ

言フ心其元虞卿カ如キ儒者ヲ不仕合者ジマカ
年寄テ負乏十不倍者ヲ誰カ惜ハモノガアルゾ

平原君 平原君 戦国ノ人ニテ趙国ノ公子ジマ
食客トテ大勢他国ヨリヨキ人ヲ集メラコレタ

九ノ三千人ホトアル是ヲ
茂秦カ居タ所趙王ニ比メ云

食客一時新 今趙王ハ御連枝方テ人民客モ大勢アルケレモ次弟オニ移
リカハ一時ニ変化メシラヌ人ニナラズ今ハ昔ノ時ノ人ハ居ヌ

誰其元ヲ惜ニ不
便カル者ハアルモ

懷中白壁如明月 明月ノタラ以テ茂秦カ
オニタトヘタモノナラ

中ニ白壁ノ明月ノタラ以テ居ラレシカシ今テハ食客ニモ知ツタモノハナヒ弁ト出シタラバ鄒陽カ上唇
ニアル如ク明月ノ珠モマニノ夜ニ人ニ根付タラバ劍ヲ把テ怒ルト云ラタカ其マウナ人ニ根與ヘラレユ人カウケタヤ
我ホカ如キ古キ友人ノ心ヲ知りタル者ヲカニシレバヨイニドコニ居テ好ミモモノニタラレハ
到ルルカ好シクハ人ガヤニハ処ニ漂泊メ居ヤルト其狼狽トウタキハルヲ云フテマツタ

寄順甫 姓ハ魏名ハ蒙ト云フ
楚人ジマ

秋風萬里生浮雲不見鄂王城 鄂王城モ楚ヲ其元居ラレハ
江水漢水アリハ万里ノ間秋風
ガ吹起テサレカララ君思
浮雲カ立捲テ鄂王城モ見え
于今楚調無人和 楚國ハ昔ヨリ詩歌ノスグレテヨビ曲ノ有ルニテ鄂中ノ
曲ト云カアル其内ノ白雪陽春ノ調トドハケテ高曲
ニ和ラレ人カ無ヒト云フガ其元モ楚人ジマカラ詩カ上手ナ今楚人調ハ高ヒユハ和ス
ル人カ無ヒト云フガ其元郷ニ居ラハ向マウ詩ノ上手ノ同調ノ人ハハレヒ

憶爾還高白雪 情 其元ノ詩ヲ和スル人モナヒユハケツテ白雪ノ
曲ヲ作ル情ヲ高クホツテ居ルヲ推察スル

寄余德甫 姓ハ余名ヲ白徳ト云フ德甫
此時江西ニ仕官メ居ル

使者 使者ハ余忠
甫子ス

街恩入楚天秋風吹動豫章 豫章ハ
江西ナリ 其元使者ヲウケテ王ハリ君恩
路ナレバ天ヘ入ルマウチ折カラ秋風カ吹起テ

孤帆遙掛浮雲色西望長安落日 其元豫章ヲ乘テ行ル舟モ吹動ト云フ
孤帆遙掛浮雲ニ引キ掛ツテ帆イセト雲カ色ニ
邊 其元一舳 舟ニ乗リテ帆ヲカケ遙ニ行ルナレハ布帆カ浮雲ニ引キ掛ツテ帆イセト雲カ色ニ
アルマウ遠ク乗出サタラバ定テ都ナカシ思ヒ出タ日カ長安ヲ望ミルニヤカフ

谷殿卿

扁舟歸去五湖春 越王勾踐ノ臣范蠡勾踐ヲ助ケ會稽ヲ賜ラ雪キ異フモホシテ後功成名
遂テ身退ル天ノ道也ト云テ扁舟ニ乗リ五湖ノ間ヘカクレタコノ句ノ心ハ我
身ヲ范蠡ニシテ云フタマフコトニテ皆西施カ事ニテ仕廻ラシ西施ハ越ヨリ謀ニテ吳王ハ獻シタスケレタ
美人ナキ吳王是レ寵愛シテ夫故ニヒビタ西施モ寵愛ノ時ハ盛テタガ今ハ流シテ去レタ 悲ムヲ云フ

紅顏 西施カ
掌上新 此二句ハ昔ヲ云フ我越ニ仕ヘシテ西施ハ紅顔ノ義人西施カ掌上ニセテ置
ホドニ珍ララレ電愛ニアツカレ氣ニ毒ニ思フテ見ラ居ヌ其後吳王セテ

明月自閉歌舞地 西施ナドカ歌舞舞チハ吳王ノ樂
レタ地モ今ハ昔ニナリテ只明月ノ
其時節ヲカバ身退ルキ扁舟ニ乗リテ歸リ
今ニハ五湖ノ間ニ住ニテ春景色ヲ詠テ居ル

秋風憔悴捧心人 此二句ハ今ノ事ヲ云捧心ハ西施カ心痛ヲ病
ニテ平生眉ニ皺ヲヨセ心ヲ捧テ居タト云フカ
手カハラ子共見ル人モ無ヒユ
死多ク思メ今ハ歌舞舞モナシ

愁見 悲ヒニシテモ心ウク憔悴ハテ居ルマウナツタム我カハマク見切テ
引込交カ己願御ハ不仕合テアルト云フナシタ詩ナ

秋風憔悴捧心人 此二句ハ今ノ事ヲ云捧心ハ西施カ心痛ヲ病
ニテ平生眉ニ皺ヲヨセ心ヲ捧テ居タト云フカ
手カハラ子共見ル人モ無ヒユ
死多ク思メ今ハ歌舞舞モナシ

愁見 悲ヒニシテモ心ウク憔悴ハテ居ルマウナツタム我カハマク見切テ
引込交カ己願御ハ不仕合テアルト云フナシタ詩ナ

秋風憔悴捧心人 此二句ハ今ノ事ヲ云捧心ハ西施カ心痛ヲ病
ニテ平生眉ニ皺ヲヨセ心ヲ捧テ居タト云フカ
手カハラ子共見ル人モ無ヒユ
死多ク思メ今ハ歌舞舞モナシ

愁見 悲ヒニシテモ心ウク憔悴ハテ居ルマウナツタム我カハマク見切テ
引込交カ己願御ハ不仕合テアルト云フナシタ詩ナ

秋風憔悴捧心人 此二句ハ今ノ事ヲ云捧心ハ西施カ心痛ヲ病
ニテ平生眉ニ皺ヲヨセ心ヲ捧テ居タト云フカ
手カハラ子共見ル人モ無ヒユ
死多ク思メ今ハ歌舞舞モナシ

愁見 悲ヒニシテモ心ウク憔悴ハテ居ルマウナツタム我カハマク見切テ
引込交カ己願御ハ不仕合テアルト云フナシタ詩ナ

秋風憔悴捧心人 此二句ハ今ノ事ヲ云捧心ハ西施カ心痛ヲ病
ニテ平生眉ニ皺ヲヨセ心ヲ捧テ居タト云フカ
手カハラ子共見ル人モ無ヒユ
死多ク思メ今ハ歌舞舞モナシ

愁見 悲ヒニシテモ心ウク憔悴ハテ居ルマウナツタム我カハマク見切テ
引込交カ己願御ハ不仕合テアルト云フナシタ詩ナ

谷元美

蕭條鸚鵡賦

後漢 祢衡 鸚鵡賦

初成偃蹇

偃蹇 氣高 今

當年一禰生

祢衡 元美 比 其 蕭條 二 祢生 如 鸚鵡 賦 之 意 也

初成 偃蹇 世 我 獨 一 之 意 也

偃蹇 氣高 今 之 意 也

當年 一禰生 之 意 也

非君

誰見孔融

自孔融

名

孔融 祢

非君 誰見孔融 自孔融 名 孔融 祢

汝思

見過林亭

時于弄宮

隱居 徐汝

徐汝

五柳

晉陶淵明 五柳先生 好 世 避 世 之 意 也

陰陰

逼酒清

一杯須見故人

五柳 晉陶淵明 五柳先生 好 世 避 世 之 意 也

明朝馬上

聽黃鳥不似

樽前喚友聲

詩經 嬰 其 鳴 其 友 求 之 意 也

樽前喚友聲

明朝馬上 聽黃鳥不似 樽前喚友聲

自買南山種

林田

明朝馬上 聽黃鳥不似 樽前喚友聲

自買南山種 林田

林田

陶家之酒錢

陶家 自謂 其 酒 錢 之 意 也

與君今日拚

沈醉莫笑

沈醉莫笑

陶家之酒錢 陶家 自謂 其 酒 錢 之 意 也

五日

與殿卿遊

北渚

五月五日 殿卿 北渚 之 意 也

北渚

五日 與殿卿遊 北渚 五月五日 殿卿 北渚 之 意 也

青樽畫舫

楚 逐臣 屈原 之 意 也

惜湖

濱風俗

濱風俗

青樽畫舫 楚 逐臣 屈原 之 意 也

遙傳楚逐臣

楚 逐臣 屈原 之 意 也

只今君自見

那能長作獨醒人

只今君自見 那能長作獨醒人

只今君自見 那能長作獨醒人

五月五日

榴花杯

故園故人

北渚來

北渚來

五月五日 榴花杯 故園故人 北渚來

君今不飲

那有長絲

君今不飲 那有長絲

君今不飲 那有長絲

紅顏去

其 元 會 城 內 酒 飲 之 意 也

那有長絲

那有長絲

那有長絲

那有長絲

那有長絲

那有長絲

那有長絲

那有長絲

擊得回今日八續命鐘トテ五色ノ絲ヲ時ニカケテ命ヲ續日々ガドウノ其様ニ長キ系時ニカケル也

酌殿卿長史

許殿卿許殿卿此時梁王ノ長史上ニ官テ

夏日過飲

夏日ノ于養於外ニ來テ酒ヲ飲タラハヒサシクヤ

蕭蕭風雨北堂

復罷官許殿卿

似高陽

漢ノ魏高祖ノ目見ノ氏儒者ト云フハ逢ヒカテ高陽ノ酒徒ト云フタニ

君但能來

長夜飲不妨人作酒徒看

其元能度ク來ラレウキス長夜飲

故人

深愧于雲才風

故人ノ深愧于雲才風

雨茅廬晝不開

已甘車馬絕君今載酒

白雲湖

上華陽山

那得

相看

不醉

還

白雲湖ノアリアル華陽山ノ風景トウモイヘヌコウモイヘヌ相看酒ヲモ

静ニ処カスキマニ人モコヌヨツテ前方ヨリ門前車馬絶ハテ無ヒラ却テ甘シク居ル能ク惣躰ガ子雲ニ似タニヨツテ奇字ヲモ知ツラ居マウト思召テ其元モ今酒ヲノセテ來ラルカ我ハ奇字ハレラヌ只サニシキハカリカ子雲ニサスレハ誰ガ為ニ來ラレシヤ我カ為ニテハアルニ

明日蓬蒿三徑

在人間

沒

誰憐長史

蓬蒿ガ舍中ニ三徑ヲ開キ唯羊仲求仲ノ從ヒ遊ス隱者ナリ蓬蒿ハ五絶ニ見ユ

九日

同殿卿登南山

九月九日ハ桓景ガ故事テ時ニ茱萸ノ袋ヲカケ菊ヲ酒ラシ高山ニ登テ火ヲ免カシテゾマヨツテ許殿卿

滿天鴻雁雨紛紛

濁酒黃花把向君

莫道龍山高會後

重陽ノ頃ハ雨ガ降ル時節

風流今少孟參軍

茶菓美酒玉壺殷

此日逢君

孟參軍ハ參軍ノ官テアツタ九月九日桓温ト龍山ニ登テ宴アリシ氏風クワイテ孟孟カ帽ヲ吹落シタラ醉テレラシグト云フコトハム

一醉還

愁見孤城秋色裡

不知風雨遍空山

此日逢君

登リテ郡邑ノ孤城ヲ見レバ秋氣色ノサシキ内ニ見エラノ城中ノ若共ハ我ト其元ト此風雨ノシツカテル景色ガ空山ニ滿クテドウモイヘヌ風流ナコトヲ知ラヌデアロフ我モ屏レハ内ニ居ルガト愁見ル也

處處登高處處登高九日日出 白髮新年年陶令罷官負昔言外也

蕭條豈少東籬菊不見當重陽二高山

時送酒人蕭條上廿二日內二毛豈陶淵明如 東籬菊籬菊 蕭條豈少東籬菊不見當

瑟雨中寒搖落東林木葉丹菊 莫道浮雲多變態還將秋色到茅

不是故人故人 誰載酒誰 祇今秋色好上五字下 誰看是其元

秋日本村偶題秋日本村二居 偶然

西風蕭瑟病相如相如 高枕從他從他

世上疎世上 莫道浮雲多變態還將秋色到茅

廬廬 能我三秋景色送來我茅屋

能長作折腰人陶淵明 五柳青青醉裏春那

生事生事 昨日罷官今日負酒 情長知縱酒非

濁酒枯魚自不食身 黃

花况復席邊新身 明朝題

縱及龍山會那得長逢落帽人明朝

和峇殿卿冬日招飲田間許殿卿

風流十友人出會

朝八重朝

陽陽

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

夕夕

白眼風塵一酒卮吾徒猶足傲當時
白眼事前三見三只是國塵三向テハ白
眼ヲメ出合ニヘ一ツ酒卮ヲ取ニ托シテ

空相慕
城中ノ年少共ガ只于奔カ名ノ高ヒヲ慕ニヨツテ
空ニ慕ラカト思ハハハソラテアル空ヲ慕フ也
言ツテ高陽ノ酒徒ノ氣ノ高ヒヲ語リテ固スレバハハリ是モ風塵一同事也
我志ススベテ知ラス者トモシテ中ノ我ヲ見ル目ハモタヌ者共ガ也

北風寒茅屋蕭條兩鵝冠
白雲湖アタリモ冬ノノナレバ北風カ吹テ寒ク此茅屋ニ物
是ヲ赤ムカニ鵝冠ハ鵝ト云鳥ノ冠ヲ
取テ冠ニ作テ兩字ヲ新ニ人ニシテ
吾物ヲヤト思フ心ニニ自ラト云我ハカリ独テ一ツ心ヲ隱者ノ
心カ堅クアラハ常ニ見テ居ルハナラヌト云心テ融ク字ヲ置タ

我自能憐華不注
華不注山ハ濟南ニアリ我自ラ獨
推意君試雪中看
其元モ

推意君試雪中看
其元モ

我愛スル山ノ氣色果イ好ヒカドウジ
ケテ試ニ此雪中ノケシキヲ見ラレト

寄恩元美
コノ時元美子ヲ慕フ
タル恩元美

幕府千山菊北青
幕府ハ將軍ノ陳屋ノトカニ元美ガ父王博コノ時兵ニ將トシ菊北ニ居
マ幕府ノアタリハ千山ガ高クツビヘテ菊北ノ方ハ青ニ見ル也

朗陵
陳寔其子ヲ連テ苗淑カモトへ行タル陳寔モコリ貧ナレバ其子陳紀陳譔ヲ供ニメ末子長
女ハ幼年ナル軍ニツニ乗セテ行ニ苗淑ガ子苗儵苗總苗緒トドハ人アツタ其内ニ苗父若

賓客夜
夜ノ字ハ下
星ノ字ニ映カ

充庭
菊北ニテ王博ノ陳屋ニ
大勢ノ客ガ夜ニ集ル
ア王博ノ朗陵ガマナ人ニ故賢人ガ集リタ

即今
即今

猶堪當一星
王博ノ方ニテ夜會ノアランニ其元ノ末子恙カナク居ラレバ苗女共ガ
一人前ノ星ニ當リカ子ヌテアコフニガツ錢念ニ思召ソフニ云テ
苗女共ガ一ツノ德星ニ當リカ子ヌテ用ヒタ惜ムキヲ云フタ也

寒清秋銀燭對閑干
閑干ハ縱横ニ流レタ良キヤ涙モ縱横燭ノ流モ縱横ナ
ル故ニ對メト云フ燭ニ對メ泣クノ也此時元美ハ家ニ居ラス

少婦
元美ガ
妻ヲ云

紅粧玉筋
玉筋

無情最是它鄉月不就仙郎
無情最是它鄉月不就仙郎

掌上春
入ノ子ヲ稱メ掌中ノ珠トナス心ナヒ物ハ多ケレ其内ニ无
無情ト物ハ是他國ノ月ナリ故郷ニ居ラレテ月ヲ見ル時ハ

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

春日聞明卿之京為寄
春日聞明卿之京為寄

十載浮雲

終者如シテ忠臣ヲ逐フコト心ナク此度又京師ハ行ルガ禁裏ノ春色ハ改メテ昔ノ如クハラス

傍逐臣

歸來不改漢宮春

十年以來浮雲が逐

持嘆々汝若精中ニ在ル見テ云々又百歳ニテ我兒童ノ時刺子訓ヲ見タガ今見ル顔色ガチカ又其後長安ノ東霸城ニテ老翁ト共ニ銅人ヲ摩挲相謂フ此ヲ錘ヲ見タガモハマ五百歳ガヤト云

誰識當時諫獵人

諫獵ノ人ハ吳明卿ヲサス曰馬相如諫獵書ヲアゲテ天子ヲ諫メ

此度都ハ屏ラレテ毛金馬門ノ外ニテ銅ノ馬ヲ見ラレテモ刺子訓ガマウニ銅馬ヲナデタ此銅馬モ久シク者ニヤト云ルホトノ間ナク京師ニ誰有テ知ラ者ハ無シムカニ貴人ハ皆死果テヤハ誰モ其元ノカレ上書メ諫ヲ申上メ人ト云フヲ知リタリハアルモト

寄懷元美

其宛ヲ詠ハ願フテ京ニ居タ

塞北

元美ハ塞北ニ居ル

江南

萬里長各天

兄弟正相望

誰將匹練吳門色

塞北

燕山五月霜

天向テ嘆息シタ天モ感メ燕山ハ五月霜

仲鳴

仲鳴蘭ノ蒲

萬縣蒲桃照玉盤

西施乳毛露華若若蒲萄ナリクイフカ

西施乳滴露華寒

西施乳毛露華若若蒲萄ナリクイフカ

向金莖夜夜看

司馬相如ニ金莖ノ露ヲ賜フハ李商隱カ詩ノ語カ始リ也前見ハ故人ノ

王中丞

破胡遼陽

匈奴十萬寇遼陽

漢將飛來ハ飛將軍ノ字ヲケテ用ヒタ李廣ガ

入戰場

匈奴ハ漢ノ世ノエヒスレバ匈奴ガ十萬騎ホト遼陽ハ攻入テ寇ヲナス其時漢ノ

色

色ノ字ヲ用ヒタ

更比相如渴不

更比相如渴不

故人

故人

萬縣蒲桃照玉盤

西施乳毛露華若若蒲萄ナリクイフカ

西施乳滴露華寒

西施乳毛露華若若蒲萄ナリクイフカ

向金莖夜夜看

司馬相如ニ金莖ノ露ヲ賜フハ李商隱カ詩ノ語カ始リ也前見ハ故人ノ

王中丞

破胡遼陽

匈奴十萬寇遼陽

漢將飛來ハ飛將軍ノ字ヲケテ用ヒタ李廣ガ

入戰場

匈奴ハ漢ノ世ノエヒスレバ匈奴ガ十萬騎ホト遼陽ハ攻入テ寇ヲナス其時漢ノ

色

色ノ字ヲ用ヒタ

更比相如渴不

更比相如渴不

故人

故人

直取 此取去字ハト云字上ニテ取テ入ト云何ノモイハ入如ク 單子

歸闕下論功那更數名王 名王ハ匈奴ノ左賢王右賢王ノ類ニテ偏裨大將ノ如ク者

萬里橫行大破胡沙場西北漢軍孤 橫行ハ禁會カヌフ

不囚驃騎 漢ノ霍去病ト云者ハ驃騎將軍ニ

知有陰山瀚海 陰山瀚海俱ニ皆

再領樓船護海濱 樓船ハ昔古南方ニ出テ一度ニテ樓船

三持節鉞掃胡塵 其後節ノ旗ト鉞ト云者ヲ賜ハリ將軍ニ命セラレテ

自是麒麟閣上人 何ホト人カ如クモ王博カ功名ハ昔ノ

怪來長得君王寵 カク人ノ如クハモノ今マカ長ク帝

名將ヲ画ニカヒテ置レタガアルガ其人達ニ

中丞萬馬下榆關 榆關ハ永平ニテ王中

拂海 海トハ渤海ノ一

幕府秋陰連殺氣散為風雨暗燕山 王博カ幕府ニ秋陰氣ノ

賀正祝ヒタ母ヲ貴 賀正祝ヒタ母ヲ貴

翩翩五鳳五雲開客自金 翩翩ハ羽ノ意ニテ

門侍從才 侍從ハ東方

六月海東桃 漢武帝ノ仙術ヲ好シレシ

親隨阿母 阿母ハハリ西王母ヲ

漢宮來 方朔ハ西王母ニ隨テ漢ノ宮中ヨリ其桃

親隨阿母 阿母ハハリ西王母ヲ

漢宮來 方朔ハ西王母ニ隨テ漢ノ宮中ヨリ其桃

親隨阿母 阿母ハハリ西王母ヲ

漢宮來 方朔ハ西王母ニ隨テ漢ノ宮中ヨリ其桃

親隨阿母 阿母ハハリ西王母ヲ

漢宮來 方朔ハ西王母ニ隨テ漢ノ宮中ヨリ其桃

親隨阿母 阿母ハハリ西王母ヲ

漢宮來 方朔ハ西王母ニ隨テ漢ノ宮中ヨリ其桃

親隨阿母 阿母ハハリ西王母ヲ

漢宮來 方朔ハ西王母ニ隨テ漢ノ宮中ヨリ其桃

ヲ持テ来ラル、今マト云テ
列伯東ヲ東方朔ニシテ云々

勞別子與

徐子與此時郡守ナリ、于莽が処へ来テ、暇をヲシメ、
ヨシテ衛苦勞ナリト尋ナカテ、詩ヲ作テ別レタ。

馬卿

司馬相

元自漢詞宗

天子同時歎不逢

宗面々子虚ノ賦、漢ノ武帝ノ見玉ヒテ、我不幸ナリ、此人ト時ヲ同セサルコトヲ嘆セラルトキ、
揚得意ト云者、是ハ臣ノ同卿ノ者、今馬卿ニ居ルト云々、ハ召メ臣下ニナサレタ、其元ハ司馬相如ガ如キ
人ナレハ天子モ時代ハ同時ナレド、イニマ
其様ナリ人ニ逢スト御嘆息ナサレ、
總爲故人
自ラ
邀貴客
是ヨリ下皆相如ガ事ナ
マ司馬相如ガ臨クヘ行

聖

心ハスベテ故人ノ我ハ小人ノ嫌ヒニ、常責客ヲ迎ヘ招クイガ好キナルコトハ、司馬相如ガ事ナリ、
琴ガ上手デアルト云々、ハ草王孫コレヲ因テ、相如呼ヨセテ、琴ヲ引カセタ。

問山中與誰把苦

詩嚴卿ガ于莽ニ山中ノ住人、
友ハモアルニ、誰人ヲ相手ニ酒ヲ飲

答右史

右史ハ許嚴卿ガ
官ナリ

問山中與誰把苦

詩嚴卿ガ于莽ニ山中ノ住人、
友ハモアルニ、誰人ヲ相手ニ酒ヲ飲

依然濁酒竹林傍

晋ノ代ニ陸機、嵇山、謝、伶、阮、咸、劉、
我竹林ノ下ニ遊ブ、是ヲ竹林ノ七賢ト

那道窮途

阮籍ガ
子ニ大道

便不狂

哭ハ中ヲ変メ、狂ノ字ヲ道モ窮リ、モハマ我道モ是切リト云
我道ハ窮ト云テ哭シタ

白眼

阮籍ガ
前ニミユ

生平君自見

我世中ノフガキニ入ラズ、白眼ヲメ居ルコトハ、平生ノ事ナリ、
元モ自ラ見テ知テ居マラシ、吾各モ及ハズ

能容易入山陽

社中ノ右ノ通りヒニヨツテ、トウシタマヌ、其カ山陽ノ社中ノ人ヲ入シマテ、
摩、炎、乘、テ、二、酒、ヲ、飲、マ、テ、云、テ、モ、云、テ、入、ル、ニ、許、ス、入、ル、ニ、許、ス、入、ル、ニ、許、ス、

見火齊燈

鐘ハマリ燈ヲ字ナシ、
マリ琉璃燈ノコトナリ

問是右良持入梁

何リ灯ヲ見テ、
トコハルト云

火齊春燈七采裝誰投明月

向

梁王

鄒陽ガ梁ノ獄中ニテラヘラレテ、上書シテ、其文ノ内ニ、明月ノ珠、夜光ノ璧、ミタリ、ソレヲモテ、
暗夜ニ投テ、劍ヲ按メ、怒ルコトアルコト、詩ノ心ハ、火齊、珠、ニテ作リ、丸、灯、籠、ヲ見シ、ハ、七、宝、ニテ飾

也知照乘珠猶在不是先容不敢張

照乘ノ珠トテ、車ナ
二乗ヲ照ス珠カニタ

山中簡許

許嚴卿

郭

郭子神

見火齊燈

鐘ハマリ燈ヲ字ナシ、
マリ琉璃燈ノコトナリ

問是右良持入梁

何リ灯ヲ見テ、
トコハルト云

火齊春燈七采裝誰投明月

向

梁王

鄒陽ガ梁ノ獄中ニテラヘラレテ、上書シテ、其文ノ内ニ、明月ノ珠、夜光ノ璧、ミタリ、ソレヲモテ、
暗夜ニ投テ、劍ヲ按メ、怒ルコトアルコト、詩ノ心ハ、火齊、珠、ニテ作リ、丸、灯、籠、ヲ見シ、ハ、七、宝、ニテ飾

也知照乘珠猶在不是先容不敢張

照乘ノ珠トテ、車ナ
二乗ヲ照ス珠カニタ

山中簡許

許嚴卿

郭

郭子神

見火齊燈

鐘ハマリ燈ヲ字ナシ、
マリ琉璃燈ノコトナリ

問是右良持入梁

何リ灯ヲ見テ、
トコハルト云

山中酒熟住山中

此句ハ自ラ云ク、コノ比ハ我山中ニ酒力熟シヌヨクモ、
上ニモ出スニ山中ニ住スル也。

早晚

猶朝夕ト云フマシキ

羊何

羊瑞之何長瑜トテ、謝靈運カ山水ヲホム友也。
ヨツテ許展卿ト、郭子坤ト、人ニ比シテ云フ。

謝公

子壽自比、羊何一人カ山中ノ風景ヲスミテア

向丹楓

其え連山中イッテモ、日ハ白雲カカリ在ルメフシキハ無トイハ、今秋ノ色カ楓樹ニ
向テ、紅葉ノ色ガヨクモ、早ク来テ見ズハ、抑竹ヲ落葉ニマウホトニ早ク来テ、紅葉

莫道白雲終日在

終日ハ猶日ト云マウナモノシ、朝夕ノ字トニラムナシ。

一入千峯

其木ノ青トシケリタレ、所ヲ出テ上ノ峯ニ入リ、
連入レテホトアル峯ナルカドコヲ見テモ、但夕陽

但夕陽

其木ノ青トシケリタレ、所ヲ出テ上ノ峯ニ入リ、連入レテホトアル峯ナルカドコヲ見テモ、但夕陽

金牛谷

其木ノ青トシケリタレ、所ヲ出テ上ノ峯ニ入リ、連入レテホトアル峯ナルカドコヲ見テモ、但夕陽

裡樹蒼蒼

我々亦居スル金牛谷ニ、其木ノ青トシケリタレ、所ヲ出テ上ノ峯ニ入リ、連入レテホトアル峯ナルカドコヲ見テモ、但夕陽

浪跡莫愁難問

浪跡ノモテ、莫愁トテ、難問トテ、多ク在朗公房

朗公房

朗公ハ僧ノ名、齊南ノ近所テリ、朗公ハ令ト云

遊仙曲

樂府題ナリ、仙ノ事ヲ作ル

一聽黃竹

周ノ穆王ハ崑崙山ニ遊ヒ、西王母ヲ逢ヒ、子行五ヒトキ、途中ニテ、日中大寒、多ク、北風吹テ、雪ヲ降ル、其時、穆王黃竹ノ歌ヲ奏シ、雪ハ止ル。

醉秦臺十二重

穆王ノ西王母ニ出逢ヒ、其時、穆王黃竹ノ歌ヲ奏シ、雪ハ止ル。

寫歌鐘人

穆王ノ西王母ニ出逢ヒ、其時、穆王黃竹ノ歌ヲ奏シ、雪ハ止ル。

過劉

劉、姓、薄、王、簿、山、齋、山、齋、山、屋、敷、行、タ、ノ、事、ナリ。

琪樹花開巢孔雀

琪樹ハ崑崙山ノ仙ノ居処ニアル池ナリ。

水煖出芙蓉

琪樹ノ玉ノ水、テアル処ニハ孔雀ノ巢ヲクフテ居ル、池ハ水カヌルニテ、芙蓉ガ水ヲ出テ、咲ヒテアルコト、雪ノ降ルニテ、水カヌルニテ、芙蓉ガ水ヲ出テ

萬壑千山入戶

萬壑千山ノ景ヲ、重秋來ニ、三徑少人蹤

萬壑千山ノ景ヲ、重秋來ニ、三徑少人蹤

萬壑千山ノ景ヲ、重秋來ニ、三徑少人蹤

不知君

音、在蓮花府

蓮花府ハ晋ノ王儉自ラ漢李膺比シ志ノ高

蓮花府ハ晋ノ王儉自ラ漢李膺比シ志ノ高

得似芙蓉

芙蓉ハ芙蓉山ノ後番メノ峰ニ似タ

第幾峰

知ラス其元昔ニ丞相ノ解居ラレタ

老去長裾

昔鄒陽ガ兵王ニ上各ヌル其内ニ何レ王ノ門ニカ長裾ヲ曳ヘカラサシマト

滿

昔鄒陽ガ兵王ニ上各ヌル其内ニ何レ王ノ門ニカ長裾ヲ曳ヘカラサシマト

淚痕秋風又曳

其元老年ニ至テ、趙王ノ賓客トナシテ居ラレタガ、今ハ浪人ニマシ、秋風ノ吹テ、淚カ流レテ、長裾ニアトカシル

可知十載龍陽

恨不道前魚

魏王、龍陽、君ト共ニ釣

寄謝茂秦

謝茂秦ハ秦ノ名

寄謝茂秦

謝茂秦ハ秦ノ名

絕句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

絶句解題書中

ラシタ氏竜田君釣タル魚ヲナメリ棄テタ魏王其ワケヲ同ルル竜田君ガ云フニ初ノニ魚ヲ得タ氏
ニ甚タ喜シタ今又最前ヨリ大キナル魚ヲ得タレバ前ノ魚ヲステル氣ニツツタ今我モ御氣ニ入テハ居ル
ガ後ニヨキ人ガ出タテラハステラルテアフロフト
亦主恩
ツトテ居ラル中十年ホドノ内ハ初メトチ
ガフテ後ニハ竜モオトロヘ棄ラレテ丁ド龍

日君ガ如キ恨ライタヒテ居ラレタガ今浪人シテカラ考ヘレバ前ノ魚ノ如ク棄ラレテモ然レ氏全ク思
フ蒙又トハ云ハレヌスレハ前ノ魚モホ主恩ヲウケタト云ガラシマカウ云テ大カタハ絶交ノ事ヲ云フデアロ
此時于壽ト中ヲタカテ居タニヨリテ今交リヲ絶テテモ昔交リヲ
結タル時ハ全ク思フカフラストハイハレヌト云心ヤ

東村同殿卿送子坤赴選

ハ人ヲ選ミテ官
富貴ニテルヲ云フ其元都ハ上ラレテ富貴ニテルハ同モ
明日應美翻飛
翻飛ハ高飛ガヤ
郭子坤官ヲ得テ

富貴ニテリタラハ其時必ス陶淵明ガ如ク
君最日往還
吾家
知五柳
何曾送
我独及モテク扉ヲ引掩テ居ルヲ思ヒシ

客解依依
其元最主平日我家ニ往來セラルフナレバ定メテ門前五柳ノ意ヲ知テ居ラレ
折テ送ルフニナレテ自ラ依クト愁ル態ヲナメシタルトハナカフテ
吾家ノ五柳ツト人ヲ送ラヌ何ソ客ヲ送テ依クノ愁ル負ヲ合点セソ

憐君又遠遊
其元家貧ナレバ短褐ノイマキ服ヲ着テ
如今白壁
雖好
字ノ句ハ心

誰能
連城
今其元ノオハ白壁ノ好キ五ナレ誰カ其五ノ價
座中楚客
許殿卿ヲ
サシテ云フ

曾三獻
楚國ノ十和ト云者ガアラ玉ヲ得テ玉三獻トシハ玉三モアラ又者獻シタトアリテ足ヲキラレタ
ラレテ其ワケヲ同セ玉スリニスラセタルハ天下ノ名王テアワヨツテ和カ玉トテ重宝ニシタル
トスアリガハ座中居殿卿更ク奉公吟味試シタレ及第セ又故玉ヲ三タヒ獻シタマハキヤ

連城
淚已流
三獻ノ用ヒラレヌ身ナレハ昔趙王ノ玉ヲ奉至カ城十五ト取カヘマクト云フ多王ノ知
及人ナヤトスコレハナシスレハ今ハ連城ヲ以テ水ルモノモ無キ思ヒテ涙カハハ流レル

貧
京都ニ赴ルケレ其元ハ故國ノ草堂ノ貧乏ナラ
預知損鶴愁無主
周願
云者カ意

南隣臥病人
自ラノ病ヲ云フ草堂ヲイマト思ハレヌセウニ其元モ預テ前カヨリ
藤マ窟カ今ニテハ我ヲ主ト思フテ居タカ此後ハ主カ無ヒトテッレラ

寄元美
其時元美カ父王行カ難カ起タニヨツテ
其事三月テ元美ハ京都ニ居ルガ

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

絶句
絶句
絶句

城上月婆娑玉笛誰為出塞歌出塞歌ハ余存ノ曲多ク都ノ街門

君自客中聽不得其月ノ夕々夜六誰カハ知ラ玉笛吹キ出塞曲ヲ聞テアラフ

秋風吹落小黃河小黃河ハ北京ノ地名也其元モトヨリ客中ノ一ナレハ笛ノ中ニ出塞曲ヲ吹ク

白雲何處不漫漫別レテ後其元ヨリ思ヒテ望シテモ見渡ス処カドモテ

依舊西山西山ハ北京ノ地名也秋色裡知君此

愁看舊ニ依テカラス北京ノ西山モ秋色ノ裏ニ昔ト見ヘマヨ昔ニカニ又テモ

匣裡龍泉龍泉ハ劍ノ名也北斗文雉來燕趙ノ多ク見ル者客如雲

自言此劍千金買值千金ノ其不是窮交不借國君

聞道紅顏鏡裏新還堪國客子

江南故鄉風雨夢扁舟其元和都ニ居ラレテ

無那故人此句ニテ七才子ノ一トヒテ

落魄其元和都ニ居ラレテ

逐客情逐客ハ李斯カ風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

初看逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

逐客情逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

逐客情逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

逐客情逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

逐客情逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

逐客情逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

逐客情逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

逐客情逐客ハ李斯カ

風流又似棄繯生後漢ノ終寧都ハ上ル時

斗蘭干

關干六嶽樓

南斗低

北斗南斗皆星名也北斗十八宿也南斗七曜也南斗七星也

三匝鳳城

樓萬年枝上

啼鳥

秋風起 飛入中丞署裡啼

哭子相

故園秋色廣陵間

易老那能長客武夷山

裡閩天掛劍歸

清秋不盡

客依依

莫向延平津

風吹落射陽湖

故人欲灑臨江淚

江千里日滄滄

看

入夢

悲君已厭廣陵濤

竟有無

寒月影孤秋

○大

○大

○大

○大

○大

○大

○大

○大

○大

○大

○大

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

三

ノ救叔八年少シトイハル。ト思ヒ外ニ其元カイツカ廣陵ノ清ライマカラレテ。他郷ヘ行テ死シテタガ悲レ上廣陵ニ居ラシタラ病氣チヲケモアラフニ云々

輓王中丞

輓歌トハ華礼ノ時柩ノ車ヲ引ク歌シ。コソテ追善ノ詩ヲ輓スト云。後ノ字ト同シヤ。中丞ハ王仲所也。王仲ガウマ。

主恩三遺護三邊

連東永事居庸是。三邊ト云テ塞上ノ方々也。帝ノ恩召ニ王仲ニ功也。三思召レテ、ソカハサレタ。

驃騎功名滅虜

帝ノ恩召カク如クテハ。漢ノ驃騎將。軍霍去病ノ功也。功名ヲ立テ虜ヲ滅シテ、ソカハサレタ。

不謂漢軍能失利

度公帝ノ恩召モフカレカ。功名ヲ立テ虜ヲ滅シテ、ソカハサレタ。

猶堪起冢象祁連

祁連山ハ匈奴ノ地也。霍去病ノ故事ヲ云々。霍去病ノ死シタ時ニ云々。

風雲猶自夾旌旄

風雲ハ易ノ語ニテ、君臣合則ノ二用ニ王仲ハ死メモ其ノ風雲ハトニリテ忠美守ル王仲ノハ風雲ハ今モク自

司馬墓前列柏高

司馬ハ衛史ノ自云マ、衛史ノ前ニ柏ノ

屬錢不是君王意

莫作石山萬里

莫作石山萬里

莫作石山萬里

瀟 西湖ノ錢塘江ニ伍子胥ガ屍ヲ流シタ処ヲ晉山ト云フ。其処ハ波分荒クテ、時ノ伍子胥ガ幽魂、甲

帝 帝ノ怒リヲアラハシ。帝ヲ怒ルニ奉ラレタ。帝ノ怒リヲアラハシ。

白馬 後漢ノ公孫瓚ガ白馬ノ軍ヲ。御恩ハ。深ヒク。

旌旄海上 勅海ノ。似雲屯 大將登壇國士恩。俱高。

千秋匹練曳吳門。此後々年モ猶白キ馬ノ面影ガ練ヲ曳クマツニ、吳門ノアタリニ見ユレタ。

鐵馬蕭蕭日色黃。日色黃ナリトハ、暈リテ。邊聲殺氣。

滿漁陽 王仲戰ヲ破シ、具足キタ馬。蕭々ト歩セテ出テ、トコマテ悲ク日ノ色モ黃色ニ。

誰知一夜旌竿折。旌ノ竿ノ折ルニ、誰カ。

搖落中丞 柘上霜。柘上霜。

三月漁陽大出師。君王按劍。捷書遲。

三月漁陽大出師。君王按劍。捷書遲。

獨封侯是數奇 王惲ハ戰モ名人ナレドイカ、センカリ大鼓ヲ將軍ノタニセハソヤガ今ニ

夢裡遙 王惲息災ノ時 白楊明日便蕭蕭 白楊蕭ト云ハ、投歌ノ語マ、其元北京

招魂與大招 招魂、大招、共ニ楚辭ニテ、屈イカ死タルヲ門人宋玉カ悲テ、招辭ヲ作ツタシ

昨夜烽烟海上青 猶聞煙塵下 一時雄劍 龍庭ハ匈奴ノ都ナリ、昨夜烽烟ハ、漁陽ノ海上トモヲホシキ、処ニ青ト見タスレバ、烽火ノ

無精彩 王惲ハタトヘテイハ、本ト雄劍ニテ有ツタガ、一時ニ糶光ガ失セテ、無ナツタ

山落將星 遙ニ燕山ノ方ヲ見ルニ、アル夜大將ノ星ガ落タレシマト指サレテ見テ、アツタガ、今

幕府高臨碣石開 碣石ハ永平ニテ、王惲ガ居ラル、幕府カ碣石山

門丹旌 丹旌ハ銘旌ノイシ、銘旌トハ赤キ絹ニテ旌ノ

沙場入夜多風雨 人見親提 鐵騎來 今ニ遺恨ガアルト見ヘテ、沙漠

別元美 女度々スル、其辺ノ人々ハ、王惲ガミヅカラ軍共ヲ率ヒテ來ラレタラ、タシカニ

北風吹雁雁群 呼泗水 泗水ハ魯ノ地ニアル、乃チ今

不見浮雲千里色 西流白白徂 北風ガ、南ノ方

知它何處是 姑蘇 只見渡スモノハ、浮

コラが其元ノ故郷姑獲デアルマラ知ラヌ遙クノ道中ギト云フ心ガアル知セノ字ハ助字ナリ姑獲ハ
吳地也此向ハ望郷邦カ詩ノ旨姑獲是白雲ト云心ヲ引カヘテ姑獲ハ行ノ二月七日

○白雲愁色滿吳門。匹馬孤舟不可論。
白雲ノ吳門ニ滿ルケキヤノモノカトレク愁ノ色ヲフクシテ居ルデアラフ今夕

元ノ海ルニ匹馬一舟ノ舟ニテ連レモナク行ルハレモ雨ツカラ悲ヒシトモ論セラレ区
一自河梁携手
李陵カ辺塞ニテ人ノ手ナリ
匈奴ニ居テ燕武カ国ヘカヘルヲ送リタル詩ニ推テ上河梁ト云後至今猶有未銷魂
一タヒ其元上河梁ニ上リ推テ手ト作リカヨリ別ノ河梁ト云

昔別レ時魂ガキテアツカヒキモセズニ残ラテ井ルニハ其悲ガヒトニ甚シ別ノ賦ニ黯然ト魂ヲ銷ス者ハ別ノ事

戲贈張茂才
茂才ハ秀オク名漢ノ代ニ秀ノ字ヲ諱テ茂才ト云フ張氏ノ分茂才ハ秀オク名漢ノ代ニ秀ノ字ヲ諱テ茂才ト云フ張氏ノ分

自愛花枝
花枝ハ妻ト妻ト比ス
掌上紅蛾眉如月縮春風
花ガウツクシサニ其枝ヲ取テ自ラ愛メ掌ノ上ニセテ弄ハ

色モ紅ニ見事ナト云テ花ニ妻ト妻ト比メ花ト思フテ愛スル蛾眉ハ初月ノ如ク春風ニ吹カレテタマカナルケキトウマラ春風吹キムスハルマウニ見ヘルヨヒ器量ガマ

須知粉
画カ上手デアツカ其元モカリメニ妻ニラニエテ工ニ眉ヲ画レハ時ノハマリ風ニ出テ来マツト
何ノ必レモブルキ妻ヲステ新シキ女房ヲ取ルニモ及ブヒモ張郎ガ眉ヲカクケ上手ナリカニ

張郎新製合歡衾
張郎新ニ合歡衾ヲコシラハル新婚礼ス故ナリ
醉擁紅顏燭影深
深ノ字ハ字法ナリ酒醉テ紅顏ノ

畫カ上手デアツカ其元モカリメニ妻ニラニエテ工ニ眉ヲ画レハ時ノハマリ風ニ出テ来マツト何ノ必レモブルキ妻ヲステ新シキ女房ヲ取ルニモ及ブヒモ張郎ガ眉ヲカクケ上手ナリカニ

張郎新製合歡衾
張郎新ニ合歡衾ヲコシラハル新婚礼ス故ナリ
醉擁紅顏燭影深
深ノ字ハ字法ナリ酒醉テ紅顏ノ

別有洞房雙玉
双玉ハ仙女ノ名
妾吹簫自和
妾ハ吹テ簫ヲ自ラ和ス

白頭吟
別ニ洞房ノ子マノ内ニ仙女ノ双玉居ニスキ妾ガアル今度婚礼ニツヒテ独リ住ニテ居
卓父君ハ司馬相如ニステラレテ白頭ノ吟ヲ作リタル相如和レタ今ハ誰モ和スモノガ無キ其ノ
モトトト葉キツタニ自身ニ和韻ラツクシタマフ不便ナリヤ文君ヲ借リア葉ラレタル妻ラマタ
自ラノ子マノ妾カ葉ラレタル
甚シヒガ見ヘル

送徐
徐ハ姓
汝思
汝思ハ子マノマノ時
左近セラレタマラ送ル

天涯明日故人疎
今日別レテ各々天涯ニハナレテ居ルナ
莫向樽前歎謫居
レハ明日ヨリ故人モミレシマバラク

最是孤臣偏雨露
雨露ノ惠ト云フ心テ
君思ニタトヘテ云フ区

君王不問篋中書
群臣ノ内ニテモ取分テ明黨ニカハラス孤臣ニハヒトニ雨露ノ御
恩ガアルカハ聖代ナレハ昔亦難ガ中山ヲ伐テ軍功アリシホ羊ヲ

君王不問篋中書
群臣ノ内ニテモ取分テ明黨ニカハラス孤臣ニハヒトニ雨露ノ御
恩ガアルカハ聖代ナレハ昔亦難ガ中山ヲ伐テ軍功アリシホ羊ヲ

諫スル者アリテ諒書ヲ上ケタメテ親文奏ハトリアケズ管ハハキテホ手澤父氏諒書
ヲ一宮出メ見セラレテツヒニ疑レナレバ此ノ如ク今ノ君王モ明君ナレハ管ノ内ノシリタル書付々
ヲ一宮出メ見セラレテツヒニ疑レナレバ此ノ如ク今ノ君王モ明君ナレハ管ノ内ノシリタル書付々

○漁陽
北辺ノ地
幾載傍胡塵
其元昔北辺ノ漁陽ニ居ラレテ幾
年モ胡ノ戰塵ニ傍テ困究セラ

此日驪
歌濟水濱
濟水ハ濟南ノ地ガ驪
歌ハ別レノ歌ガマコノ日其元
別レニツヒテ此濟水ノホトリテ別レノ歌ヲウタフ

此日驪
歌濟水濱
濟水ハ濟南ノ地ガ驪
歌ハ別レノ歌ガマコノ日其元
別レニツヒテ此濟水ノホトリテ別レノ歌ヲウタフ

此日驪
歌濟水濱
濟水ハ濟南ノ地ガ驪
歌ハ別レノ歌ガマコノ日其元
別レニツヒテ此濟水ノホトリテ別レノ歌ヲウタフ

此日驪
歌濟水濱
濟水ハ濟南ノ地ガ驪
歌ハ別レノ歌ガマコノ日其元
別レニツヒテ此濟水ノホトリテ別レノ歌ヲウタフ

此日驪
歌濟水濱
濟水ハ濟南ノ地ガ驪
歌ハ別レノ歌ガマコノ日其元
別レニツヒテ此濟水ノホトリテ別レノ歌ヲウタフ

此日驪
歌濟水濱
濟水ハ濟南ノ地ガ驪
歌ハ別レノ歌ガマコノ日其元
別レニツヒテ此濟水ノホトリテ別レノ歌ヲウタフ

白首談兵君自見

白髮ニテルモ軍評談
ラテ居ル事云々ハス

何須更問請饒人

漢ノ終軍カ年
少テアツタカ天子

青樽華髮對銷魂

匹馬孤城日色
此別ニソシテ樽ヲヒラキナヨリヲ惜ムニソノ元モ我モ白髮ニナリ歳月ヲ感シ相對メ別
ヲ惜ム年カ寄ツクニハ入魂カ消ルマウニカナレ其元ハ匹馬テリテ行ハラ此孤城ノ中ニテ送
リテ別ルレバモハマ日モクレルハ入サヒ

愛客

愛スル処ノ客散
更爲長缺引
君カ客ヲ馮驩云
者アリニアラニカワヒトテ長缺引カト長缺引カト今其元堂ニ愛モラルハ客散カ今ソノ元左
近ラルレハモト客トナリテ居ル内カ多ク又今度モ長缺引カカテ客散リクニ去ツタ

省孟嘗門

主恩千騎入防
シカニ其元モトヨリ客ヲ愛モラレタルニ昔ノ恩ヲ思ヒ
同首メ孟嘗君ガ門ノカヲカハリホリワレク見テ去タ

秋幕府遙臨上谷

愁
防秋トハ胡人ガ秋ニナルト膠ガカクナリヲモツヨクナルユヘ
四塞ノ地ハ來テ寇ラナスコレヲ軍兵ヲ出メテ防秋ト
ト云フ其元主上ノ恩ヲウケ北京ノ近処ハ來テ胡ノ防キニ行ル
其陣屋ノ幕府ハ遠ク上谷ヲ見ヨクモカウカデゴフ

愁ノ字ハカハル明カニ云
スカウテ意ガカヒ

和許右史秋日玉函觀

玉函觀ハ道
觀伎
伎ハ妓ト同シテアドリチノ
一チハ殿御秋ノ日此道士ノ
名花ハ牡丹ヲ云
妓女ニ比メ云

瑶臺十二玉闌干

月出名花
瑶臺ハ瑤母ニ出テハ仙家ノ基ヲ云フ玉ノ基ノ十二階ニシクツテ玉ノ闌干ヲラシ廻シ表舞
イダマ折フレ月カ出テ其前ニテ妓女凡カ舞フ姿ハ牡丹ヲ手ニ持テ見レハ掌ニ映メキラク
スルマウチヤ
トトヘラ云

自是仙人

君不信
只今誰得醉中看
メテ仙女シマト云切リテ甘テ其元モソノ遊ルハナレハ仙人デアコフモトヨリ仙術信仰ナレバ
ノカマリノ糸ミモアル仙術ヲ信セラレハ只今誰カ酒ノミチガラ此妓ヲ見テ得テ是ヲ以テ現レ
ハ其仙人カ

青鳥

七月七日漢武帝承華殿
青鳥カ飛ヒテ來タ
何鳥マラ知レナクハ東方朔ハ是ハ西王母ガ使ヒテ來タカアル

洞裏如花女

共指風流許侍中
西王母ノ使ヒトテ青キ鳥カ翩ハト飛來テ錦空
書翰ヲ寄セタ道現ノナレハ玉函官ニテ簾ヲ
吹キ立テ秋ノ景色モ
情
冷カラ仙家ハ格別カ

和許右史初度

初度ハ誕生
村興之作
許殿御カ誕生日ニ村ニ居其時ノ
昂興ノ詩ヲ作タルヲ和シタ

一瓢春酒望青天。誰識箕山武仲

武仲ハ諸由カ字ナリ。許右史ニ比メ云フ。許由ハ堯舜ノ人ニシテ箕山ニ隱レテ居ル賢人ナリ。ト云ク。隱者ガ牛ニ水ヲ飼ント。牛ヲ引テ来リケルニ。許由ガ耳ヲ洗ヒタルヲ見テ。其時糞ヲ洗ヒタル水ハ。我牛ニモ飲セラレヌト云フテ。牽テ返ツ。許由ハモトヨリ。貧乏ニシテ居タニヨツテ。碗ノルモ持テ。水ヲ汲テ。ミケル。入ニ。瓢ヲ送リケル。ユヘシテ。汲テ。ミケル。杖ニテ。オキケル。カ風ガ當リテ。カラクシテ。ヤカニ。ヒトキ。又テ。捨テ。タ。此一首ハ。賢我亦頼陽飲

牛客

某父ヲ云フ。自ラ此ニテ。其山モ。頼陽モ。皆梁主ノ有ニ。近シ。

猶堪擊壤共竟年

擊壤ハ堯ノ時。太平ナル。百姓共悦ビ。壤ヲウツテ。歌フ。タリ。姓北悦ビ。壤ヲウツテ。歌フ。タリ。

九日 示殿卿

牀頭濁酒浸黃花。門前蕭蕭五柳斜。

今日佳節。十六牀ノ上ノ濁酒。五柳花ノ浸メ。一醉ヲナス。門前ニモ蕭々トシテ。吹カレテ。ニナヒテ。見ユル。

此日登高。世人盡醉。誰知秋色在陶家。此ノ日ハ。人ガ高山ニ登リ。盡ク醉ラヌ。ト云フ。其カ。秋ノ景色ハ。陶淵明カ家ニアルト云フ。ハ。誰モシラヒト。我ヲ陶淵明カ家ニ云フ。ハ。自負ケ。

雙生緋桃栽

雙生ハ。処ノ緋桃ノ子ヲ。于。葦ガ庭ヘウエタ。

白雲湖上酒家春那更

那更ニト云フ。トクニ。思フ。トバシ。

桃花照眼新

君也自武陵人

中ヘウエタ。昔武陵ノ人ガ。桃花源ヘ行シ。陶淵明カ記ニテ。ヲヒタリ。

今日為栽三徑裡

我ハ陶淵明ガ。マ。其元ハ。桃ヲ。文テ。詠フ。居タ。人ナレバ。自然ニ。武陵人。ソト。カ。ア。ヒク。不便ニ。ナ。ハ。桃。花。毛。障。者。ノ。趣。タル。故。陶。淵。明。カ。家。ニ。モ。相。容。ル。外。ナ。レ。

送子與

徐子。与。コ。ト。キ。頼川。知。府。ノ。官。テ。アツタ。都。ヘ。參。觀。ス。ル。ヲ。送。ル。ト。云。

北風吹雪雪漫漫。雪裏題詩淚不乾。

雪ノ子ヲ。三ツ。疊。シ。北風ガ。雪ヲ。吹キ。送テ。ワク。フル。ユヘ。雪ハ。漫。ト。シ。テ。シ。モ。ナ。ク。モツ

後逢君五馬入長安

長安ハ。北京ヲ。サ。シ。交リ。ヨ。ム。ス。レ。テ。居。タ。故。人。共。カ。ニ。ナ

豈意故人

其元都ヘ上ラル。此雪ハ。御。苦。勞。ナ。マ。雪。中。ニ。詩ヲ。作リ。テ。別。ヲ。惜。ム。カ。覺。ヘ。不。涙。カ。出。テ。カ。ハ。ク。カ。ナ。ヒ。

十年高臥白雲寒

借新錦字

看

此二句ハ。有。テ。事。ヲ。人。ト。シ。我。レ。十。年。ア。リ。世。ヲ。カ。レ。テ。枕。ヲ。高。メ。臥。シ。テ。居。ル。ガ。タ。白。雲。ノ。カ。リ。テ。世。人。ガ。交。リ。結。

七言

色句集

廿九

ヒタヒト願ハ新知ノ始テ途々人ニ我詩ヲ著簡ナ
トテ借シテ見セウト云カモ益モナヒ煩ナリ
能相憶使君難使君灘ハ地名也于義ノ尺牘中ニ其事が見ヘタ蓋于義昔子ヲ
カ輩ト相會シテホシダ所也子心ハ故友達ガ次第ニシテクナルニアラスハトウ

能相憶使君難使君灘ハ地名也于義ノ尺牘中ニ其事が見ヘタ蓋于義昔子ヲ
カ輩ト相會シテホシダ所也子心ハ故友達ガ次第ニシテクナルニアラスハトウ

髮新禧惟ト云ハ太守ノニナル前ニ見エ其元太守ニナウテ禧惟ヲカケ何レノ処ニテ風塵ニシ
ツテ居ラハマ今江湖ノ中ニテ手ヲ握リ出會テ見シハ白髮ガ新タニハ名ヲテ久シク別レテ今相

見レハ其白髮ニナリ去ハ猶行トスト
同レ心ケヤ更沽燕市燕市ハ北京ノ
所ヲ云フ酒不知誰作

和歌人其元ヲ去テ行ヒテスロブリテ又北京ノ所ノ燕市ノ酒ヲ沽テホレハナラハ誰カ昔ノ判
朝高漸齋ガマウナ歌ヲ和セル人アリテ相手ニナルモノガアロフカシラ又恐ラクハ同調ノ人ガ

○中原北望九河分明ノ世ノ河間府ハ古ノ九河ノ地ヲ濟南ノ北ニアタリ北京ノ
南テリソレユヘ中原ノ都ヲ北ニ望メハ九河ガワカレテ三

太守太守ハ徐子
与ヲ云フ揚帆入五雲五雲ハ道家ノ云ニ京都ヲサス此度太守ノ
其元ガ九河ヲ揚帆テ都ノ方ニ入ル莫

按腰間鹿盧鹿盧ハ
劍飾劍明珠今日便投君時投ノ事前三見其ノ腰間ニ帶レタ
鹿盧ノ劍ヲ按ムニラニ見ルナカ

我明珠ヲ以テ今日便チ其元ニ○玉帛徵賢謁建章建章宮ハ漢ノ宮殿
テヤカリ用テ景中ヲ云フ擢川

軒蓋有輝光天子ヨリ玉帛ヲ賜ハリ賢者ヲ徵シテ建章宮ニ行テ舞馮フ仰付ラハ其元ニ
擢川太守ニテ軒蓋ヲ持セテ朝参シラハ威勢モサカニ見カリカマクテ云フ

必入建章宮拜
許セラルテ云フ君恩儻或ト訓スモレ
クハトヨム許留京北京北
則不必重來下鳳凰

前漢ノ黃霸擢川太守ノ一前ニ見ヘタ後ニ京北アリリタリガアル君王モレマ其元ヲトミテ京北
ノ尹トナシ玉ハ必ス黃霸ガ如ク又擢川ニ帰サレテ政ヲヨクメ鳳皇ヲ下サルニ必定シタフテ無

殿卿別業許殿卿ガ下屋鋪
ニテ作タ詩云

負郭田郭後ノ田ト云
田客トテ田
耕隣家酒熟任逢迎荒勸客田客トテ田
耕隣家酒熟任逢迎耕隣家酒熟任逢迎其元ノ
負郭ノ

田地モ荒ルト百姓ヲスメテ耕作サセル隣家テ酒ガ出未ル只今何異吳門卒梅福
トヨビニツカハ其意ニカセテ行テ飲ムゴロ安キ身上シマ

二見エ只今其元アリ其昔ノ梅福ガ只今何異吳門卒梅福
只今何異吳門卒

名ヲ変スルニモ及ハス已ニ其元ハ名モ亦セズ此下屋ニ世ヲ遊シテ林頭詩草日生鹿

林アタリニ詩ノ下ガキナド錢ノ架上長裾長裾ハ鄒陽
カ語前見ニ嬾著身衣桁ノ上ニ出仕
装束ノ長裾ガ

カケテアレバ身ニキルモイニ自訝閉門無一事春來擬作緯蕭人緯蕭ハ
子ノレトナヤ

家貧ニ緯蕭ヲスキワヒトシタト云フガアル昔昔スダレコシラハルヲ世ノ中ニ搆ス門ヲ閉日永ニコニフニヨツテ昔昔スダレニテモア
破世ヲスル人ニナラフト思擬テアロフ

日永ニコニフニヨツテ昔昔スダレニテモア破世ヲスル人ニナラフト思擬テアロフ

觀獵

胡鷹擊鏡

北風迴草盡

平原使

當場意氣射生

馬開臂上角弓如却月

來

射生

射生

來

胡國名產云胡鷹ト云鷹ヲ放ケルハキ鏡ヲ射テ遙ニ北風

十月霜清紫兒驕浮雲不競鐵聽飛

半酣驅逐諸年少盼子城

東看打圍

寄元美

楚客

携上國

龍泉照雪霜

豐城後

紫氣空于北斗長

憑將白雪

寫朱絲

總是人間此

調悲

我今

寫朱絲

總是人間此

調悲

蒙君莫管古來能得幾鍾期

下サレ古来ヨリ能鍾子期ト云マツテ

引ヒタカシラ関ワシタハ鍾子期分リヤ

ノハ其エバカリキヤ幾タリ昔伯牙ガ琴ヲヒクニ志山ニアレハ

鍾子期ガアロウゾ

握明珠掌上愁

夜來寒色動隨侯

人相視

任是衛恩未可投

可知按劍

七言

絶句

エテ云フモ、コノ夜ノ字ヨリ引出シテ云フコトハ、其元ハ隨侯ニ思フテタルニヨリ、所持ノ珠ヲ以テ恩報シ、ト思テ、其寒色ヲササヒキ珠ヲ以テ、夜中ニテテ隨侯ヲ驚サシ、思ハレテ隨侯カ珠ヲミラレテ、其入カ暗ニ思ヒカケ、此マウナモノヲ投ツテ、タト云フテ、劍ヲ投メ、イカルモ、アロ、トウ、モシ、スレシマニヨツテ、タトヒ思フ、蒙ルル、輕ク、レクハ投ツテ、ヒツト、隨侯ノ、フウラハラニ云テ、言ハハ足下ノ詩ヲハ、安リ、モ入、エ

汗血ト云フ、**老無成**、檀ハ、麗ハ、シキ、板ジマ、コノ、詩、駿馬ヲ以テ、タリ、ハ、久、駿馬、名、殿、中、ニ、居、テ、其、汗、血、ト、云、フ、**若教一奉瑤池御八駿**、如雲、多キヲ云、

不敢鳴、モシ、タ、ヒ、周ノ、御、王、ハ、心、ノ、駿馬、ニ、リ、瑤池、邊、ニ、西、王、母、ニ、逢、セ、ラ、ル、ナ、ド、云、フ、ア、ツ、テ、

得徐使君、徐使君ハ、徐、子、子、カ、**所居處**、子、子、カ、**贈王敬美**、名ハ、世、繼、ト、云、元、美、カ、弟、カ、**見贈答寄**

山中伏枕白雲天、自ラ謂フ、

江上新詩錦字傳、南ノ方ヨリ、メツラシキ、詩、ヲ、寄、ラ、レ、タ、錦、ノ、マ、タ、文、字、

轉向故人、故人ハ、子、子、**三致意**、君、家、兄、弟、有、誰、情、

博物張華、張華、**十年京洛少從容**、十年、以、前、京、洛、ニ、テ、ロ、イ、ソ、カ、ハ、シ、ク、途、中、

當時未得豐城劍、豐城ノ劍ノ事、**已識雲間陸士龍**、張華ト雷煥

君家二妙、二妙ハ、兄、弟、ニ、テ、王、ヲ、サ、ス、晋ノ、衛、

日趨陪、兄、弟、モ、毎、日、

那因見和池塘句、始羨風流小謝才、

謝靈運、永、嘉、

色別聲聲

三

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

才出未又其時夢中... 謝靈運... 池塘春草生... 云句ヲ作りタルト見テサメス... 此句妙ナリ... 我句ニ非...

偶因家難

家難ハ故美分父... 王仲ガ難ガア...

中原莫恨論交少

海内今無驃騎名... 軍何尅ガ第五...

頁平生

父御ノ家難ニヨ...

汝寧

汝寧府上... 徐使君... 徐子与...

汝海清秋四望開

白雲長在景夷臺... 景夷臺ハ汝寧ニアリ... 其元ノ治ノラル...

已知千載無枚叔

誰愛風流漢署

使君

漢ノ使君... 司馬相如... 才ハ...

政雜風騷遠

郡青山照彩毫... 其元ハ風流ノ人...

不是賦

郡ヲ多リテ... 山ニ青山カアル... 其色ガ其元ノ詩文章...

成相唱和

那須更署范功曲... 徐南ノ太守宗資...

天子分符

漢省郎... 漢トハ明ノ代ノ...

風烟汝

穎川... 漢トハ明ノ代ノ...

更相望

徐子与... 穎川ノ太守ヨリ...

輿吏

許處ハ平輿ノ人...

他郡從教

下鳳凰... 黃霸カ吏...

鴻陂東注

汝陽城太守乘春出勸

童子但須騎

耕... 此度ノ太守ハ春ノ節...

色可

色可... 色可...

七言

七言... 七言...

竹馬後漢ノ郭伋西河太守ニテ始テ郡ニ到リ其治メ場ヲ廻リ 夾車休唱漢ノ童共カ數百人竹馬ニノリテ迎ヘニ出ス其元モ其通リヲ云

魁羹漢ノ時度ノ水が出テ此鴻陂ノ水ヲ以テ蓋テ食ラセタラ舊方進ト云者ガ丞相ニ

レバ上田トナツテツミノ入用ナラモナク水難モナク至極ヨリシニ方進カ没メ後或人ガ方進

時ニ王莽ガ天下ヲ奪フタ時太旱ガシタ其時ニ郡中ノ者共ガ水ニコソツテ方進ヲウツテ

歌ヲタフガアル芋魁羹ハイモガシテノ莫物也言ハ其元ハ仁心カ深シ故ヘ童モ竹馬ニ

唱ヘルヲハマメルカヨヒ

西望千山入楚秋西ノ方ニ望メ千山ガツビテ楚國ノ 帝謂使君終長

者黃霸カ傳ニ天子黃霸カ郡ノ治メカノヨキヲ御覽アツテ黃霸ハ終ニ長者ニトシテ賞美ス

寒惟不必更聞外此時ニテ大カ徐子ヲニ國中ヘ行ケト命ガアツタト見エル

身ノ上テガナラズ又固クハツカサレテモアルニヒテ必ラシトス

高齋臥理周理ハ汲黯カ 薄書閉採史裁詩

日往還郡齋ノ内ニ寢テ居テ一郡ヲ治メラルナレバ隨方事ルナルニ簿書ノ燦面類

片月不離桐栢水桐栢水ノ名トシテ又陽山ノノ多ハ白雲カヒトニ立ハテ物靜ラフヤ山ト云ヒ月マ

高蓋峻嶒駕楚雲驂驛五馬五花文五馬ハ太守ノ前ニ見ヘ五花文ハ馬ノ鬃毛キリテ花ノ如クスルガ或ハ三花或五花ニスル白赤

漢庭此

日推推ハ朝ニ 經術可 是尋常作使君

千騎如雲汝水濱銅符散冕

一時新

身爲漢主分憂吏

何必

...

...

...

...

...

...

禮讓が第一、名をトテ、此大役ヲ決断スルヲスキ好シテ、人ニ譲ルヘキヤ、自ラ任シテ、引キ受テセラレ、テアロフ

○三河 三河トハ河東河内河外トテ、昔ノ漢ノ代、魏遂黄覇ハ名代ノ太守テアロドモ、

明世ノ初トシラモ、**鬱如林** 林ノ如クモ、**治行** 治行カシク、**看君結主深** 河南省アタリハ名郡ガ、

ツリテ、多クアル其内テ、其元ノ治ノカタハ第一ナレバ、**但使便宜長得請** 漢ノ世ハ、時ノ便宜、

君手思召、カナヒ御感ニ預ル深カク看ル、**守臣無意賜黄金** 漢ノ世ハ、治メ方ガヨヒケレバ、

コウスレバ能ヒト云フコトアレハ、誰ニテ侵スニ、**守臣無意賜黄金** 黄金ヲ賞美ニ賜ハルガ、

ヨラズ言上トシテ、**趙充國**トモ申上タフガ、**守臣無意賜黄金** 黄金ヲ賞美ニ賜ハルガ、

アル其元ハ天子ノ思召、深ヒ人ナレバ、**守臣無意賜黄金** 黄金ヲ賞美ニ賜ハルガ、

ノ通り長ク詰ヒ願フコト許サレ、**守臣無意賜黄金** 黄金ヲ賞美ニ賜ハルガ、

段黄金ナドヲ拜領シタヒ上、**解道文章老自知** 文章老自知ノ五字ハ、徐子与ガ句、

云フ心ハナシ、誠ノ忠臣ナリ、**解道文章老自知** 文章老自知ノ五字ハ、徐子与ガ句、

多クラ、本ノ白ノ解道澄江浄如練ト作ツタ句法デア、**解道文章老自知** 文章老自知ノ五字ハ、徐子与ガ句、

ト云フ心ハナシ、誠ノ忠臣ナリ、**解道文章老自知** 文章老自知ノ五字ハ、徐子与ガ句、

病客 病客トハ、**重相思** 中原ニ居ル病身ノ我、今ニナツテ、其元ノ、

病客トハ、**重相思** 中原ニ居ル病身ノ我、今ニナツテ、其元ノ、

落着如此 再領專城 專城トハ、**後時** 後時トハ、

落着如此トハ、**再領專城** 專城トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

居元ハナシ、**後時** 後時トハ、**後時** 後時トハ、

辨書中終

